

公表:令和 6年3月1日

事業所名 ドリーム手稲

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善 内容又は改善目標
環境・ 体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			一人ひとりに合わせてねらいを設定し活動内容に応じて部屋を分けるなどして環境設定を行っている。	
	② 職員の配置数は適切であるか	○			活動内容やお子さんの発達段階等に応じて職員の配置を行っている。戸外活動や個別活動の際には職員人数を増員している。	
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○			お子さんがわかりやすいように、視覚提示物を準備するなどの環境を整えている。	
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○			午前・午後の療育後に室内の掃除、消毒を行っている。定期的に換気を行い、玩具消毒は毎週行っている。	
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			療育開始前には申し送りをを行い、目標設定や職員配置を行っている。療育後には振り返りを行い、お子さんの関わり方を統一したり、反省点を次の療育に活かすようにしている。	
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			評価表の結果を職員に周知し、保護者の意向を把握したうえで改善に繋げている。	
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			評価結果を踏まえて、業務改善に繋げている。HPで公開している。	
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○		今後、検討していく。
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			外部から講師を招き研修を開催したり、児発達主催の研修に参加するなど研修の機会を確保している。	
適切な 支援の 提供	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○			定期的なアセスメントを行っている。保護者の要望を聞き取り、必要と思われる支援を検討し立案している。	
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			アセスメントシートを使用し、お子さんの状況、特性を把握し、支援を行っている。アセスメントの見直しも行っている。	
	⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○			ガイドラインに則した支援項目を設定している。保護者の意向を聞き取り、関係機関と情報交換を行い、支援内容を設定している。	

	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○			支援計画に沿って療育内容を検討している。	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			月案を作成し、担当者が中心となって立案している。	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			月案を作成し、お子さんに必要な活動やプログラムを職員間で検討している。	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか	○			集団活動、個別活動を組み合わせて療育を行い、支援計画にも反映させている。	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			支援開始前には必ず職員間で活動のねらいや流れなどを確認し、役割を分担して支援を行っている。	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			振り返りを行い、関わり方や療育内容について検討し、次の支援に活かせるようにしている。	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			お子さんの様子を具体的に記録に残し、支援の際に活かしている。	
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○			半年に一度、また必要に応じて判断し見直しを行っている。	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			担当者会議がある際には児発管や療育担当職員が参加している。	
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○			各機関と情報交換を行い、連携を図っている。	
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか					該当者なし
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか					該当者なし
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○				サポートファイルを使用し、必要に応じて移行先に提出できるようにしている。
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○				サポートファイルを作成し、情報共有を行っている。
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○				専門機関の助言を受けている。機関支援主催の研修にも参加をしている。また、児童発達支援センターと定期的に情報交換を行っている。
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか			○		地域行事に参加をしたり公園等で機会を設けていく。
	㉙	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○				必要に応じて参加をしている
	㉚	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○				日頃から連絡ノートや電話、送迎時にはお子さんの様子についてやりとりを行い、共通理解をもてるようにしている。また、支援計画の見直しの時に保護者と面談を行い、情報交換を行い支援に活かしている。

	① 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	○			ドリームで取り組んでいる内容を家庭でも取り組めるよう、アドバイスをしたり相談しながら進めている。	
	② 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時には必ず説明をしている。	
	③ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○			支援計画作成後、保護者と面談や電話にて支援内容の説明を行い、同意を得ている。	
	④ 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			面談を通して保護者の思いや悩みに共感し助言を行っている。日頃から連絡ノートや送迎時のやり取りの中でも、必要に応じて行っている。	
保護者への説明責任等	⑤ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			茶話会や、就学前相談を実施している。	
	⑥ 子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			申し入れ時にはできるだけ迅速に対応し、具体的に案を出して説明し、了承を得るようにしている。	
	⑦ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			ドリーム通信やブログ、SNSで発信している。	
	⑧ 個人情報の取扱いに十分注意しているか	○			個人情報の文書などの取り扱いには十分に注意している。	
	⑨ 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			保護者の気持ちや、お子さんの気持ちに寄り添い、受容・共感し支援を行っている。	
	⑩ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			夏祭りを開催し、地域の方にも参加をして頂いた。	
	⑪ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○			マニュアルを作成し、職員間で周知している。毎月避難訓練を実施する中で、訓練内容の見直しや整備を行っている。ドリーム通信やブログ等を通して周知している。	
	⑫ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			避難訓練は月1回年計画に基づいて行っている。全児童が経験できるように日程や時間帯を設定している。	
	⑬ 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○			契約時に聞き取りを行い確認を行っている。	
非常時等の対応	⑭ 食物アレルギーのある子どもについて、示書に基づく対応がされているか 医師の指示に基づく対応がされているか	○			契約時にはアレルギーの有無を確認している。全職員に周知し、表を作成し掲示している。	
	⑮ ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリハット事例を作成している。事案があった場合には報告書にて全職員に周知をし、再発防止に努めている。	
	⑯ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			定期的に虐待防止研修や、虐待防止通信を発行し、正しい理解、関わり等について確認できるようにしている。	
	⑰ どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○			支援計画にてやむを得ない身体拘束について記載し、保護者に説明し同意を得ている。また、拘束しない対応方法を常に検討している。	

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。